

1 各支部の提案について

〈三豊・観音寺支部〉

- ・国語の勉強が楽しいと感じられる工夫があり、教材のつながりを大切にした展開が工夫されていた。
- ・精査・解釈する力と音読することを結び付けた。考えたことを踏まえて音読をすることで、言葉に着目し、見方・考え方を働かせながら自分の考えを作っていく子供の姿が見られた。
- ・単元での学びや自己の成長を自覚できるような工夫が事前・事後の活動にちりばめられていた。
- ・単元を年間指導計画の一部だと意識した緻密な指導計画が立てられていた。年間を通して物語を読むコツを習得し蓄積していくことで、子供たちが付けた力を自覚し、その力を使おうとする姿が見られたことが大きな成果である。

〈坂出・綾歌支部〉

- ・学ぶ意欲を高めるための導入として、四年生の時の壁新聞を想起させていた。
- ・子供の興味関心に沿った教材開発（WBCの記事）が行われていた。目の前の子供たちの実態を捉え、その実態に沿った工夫をしていた。
- ・伝えたい視点によってどの選択肢を選んでも正しいと思える工夫がなされていた。また、スモールステップの支援によって、学んだことを生かして新聞記事を作ろうとする子供たちを育てていた。

三豊・観音寺支部、坂出・綾歌支部のどちらも、学んだことを子供自身が振り返り、活用していくことを通して、学ぶ意味を実感することのできる実践であった。

2 チャット GPT・生成 AI について

夏休みの宿題等に関して問題になっているが、使い方によっては便利なツールである。これに関しては、子どもたちが学ぶ意味を実感しているのかが大切である。学ぶ意味を実感していれば、生成 AI に頼ることはない。この勉強をしてよかったと感じていれば、自分で考え、学んだことを生かして使おうとするのではないだろうか。

〈近所の子どもによる手作りの新聞が自宅のポストに入っていた事案から〉

学校で学習した新聞づくりの楽しさや意義を実感し、自分で作ってみたいと思ったのだと思う。誤字脱字はあるが、一生懸命に作ったものをみて温かい気持ちになった。子供の素直な言葉はすごい。言葉を使う楽しさを子供たちに感じてもらえるよう尽力している教員という仕事は素晴らしい仕事である。